

令和6年度 第2回 山ノ内町国民健康保険運営協議会 議事要旨

○開催日時・場所・出席者

開催日時 令和6年12月23日(月) 午後1時30分から午後3時まで
場 所 山ノ内町役場4階 401会議室
出席者 下記のとおり

○協議状況(議事要旨)

1 開会

2 町長あいさつ

・久保田副町長(代理)

3 会長あいさつ

・福井会長

4 議事録署名委員の指名

・会長より鈴木昌道委員及び樋口新一委員を指名。

5 会議事項

・山ノ内町国民健康保険条例施行規則第4条により会長が議長となり議事の進行を行う。

(1) 令和6年度の医療費状況について

- ・資料1により令和6年度の医療費状況について説明。
- ・質疑…医療費の入院、入院外の費用額が下がっているが、調剤が例年並みと説明があったが、その原因は。
- ・回答…薬価の改定の影響があるのではと推察している。
- ・意見…薬価は全体的に下がっているから、それが原因ではないと思う。おそらく新型コロナが5類に移行したことにより国の補助が少なくなり影響があるのではないか。

(2) 令和7年度の国民健康保険税について

- ・資料2及び別添資料1により令和7年度の国民健康保険税について説明を行う。また、併せて令和9年度までの基金残高の推移の見通しについて説明。
- ・質疑…令和9年度に県の標準税率に合わせたとき、税率が跳ね上がる懸念はないか。
- ・回答…令和9年度まで改定なしとした場合の基金残高を示した。令和8年度の税率については、今年度の決算と7年度の医療費状況をみて来年度検討していきたい。また、6年度の医療費が下がっている状況から、7年度の税率をあげる判断はできない。
- ・質疑…とれる時にとって、段階的に税率をあげていくのがいいのではないか。
- ・回答…2次医療圏で統一するときに基金を処分できる使い道がない。ある程度の基金を処分しないと、将来基金をどうするか話がでてくる。
- ・質疑…町の医療費指数は低いほうにもかかわらず、統一で医療費指数が上がり納付金が高くなるのは不合理と考えるが。
- ・回答…納付金は前の年の3年平均なので、急に上がることはない。また北信地域の二次医療圏内は格差が少ないほう。町はもうじき3,000人未満の小規模保険者になる。急な高額な医療などにより医療費の変動があっても対応できるよう大きな財布で行っていくことが、これから必要となってくる。

協議会として令和7年度の国保税は据え置きということで方針を定める。

(3) その他

・12月2日から本格稼働したマイナ保険証について説明を行う。

6 その他

・委員報酬について

7 閉会

○出席者名簿(敬称略・順不同)

(委員)

被保険者代表 湯本 弥助

被保険者代表 宮崎 健一

被保険者代表 鈴木 昌道

被保険者代表 樋口 新一

保険医 代表 城下 博夫

保険医 代表 山本 雅英

山ノ内町議会議員(社会文教常任委員会) 委員長 高田 佳久

山ノ内町民生児童委員協議会 会長 湯本 和幸(副会長)

山ノ内町農業委員会 代表 福井 敏彦(会長)

被用者保険等保険者 代表 中澤 卓

(事務局)

山ノ内副町長

久保田 敦

健康福祉課 課長

小林 佳代子

健康福祉課医療保険係 係長

成澤 高幸

健康福祉課医療保険係

宮川 和代

以上